

事務事業評価における総括

部 局 名	経済部	記入責任者	吉川 勝則
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>経済部の 59 事業については、23 事業が「S」評価、13 事業が「A」評価の評価結果となります。新型コロナウイルス感染症の影響で「未実施」となった事業も、11 事業ありますが、経済部の事務事業については、一定の成果があり着実に進捗しているものと評価しています。</p> <p>指標を達成できなかった 5 事業についても、コロナの影響で達成できなかった事業が大半であるため、今後、社会情勢を見据えつつ、引き続き関係機関との調整を図りながら進めていく必要があります。</p> <p>産業振興課では、コロナの影響を受ける事業者への支援として、資金繰り支援、給付金、消費喚起策など年度当初には予定していない事務事業を実施しました。</p> <p>農業水産課の「地産地消の推進」と「海岸の保全・活用の推進」や、拠点整備課の 4 事業については順調に事業が実施できております。</p> <p>雇用労働課の勤労者福祉事業については、教育資金利子補給において本制度の見直しを行った結果、令和 3 年 1 月 1 日以降の新規受付を休止し、令和 6 年度末をもって事業休止とすることで業務量及び予算の削減につながりました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>産業振興課や農業水産課では、新型コロナウイルス対策の影響で 4 大祭りをはじめとする各種イベント等や、イベントを通じた観光振興や農畜水産物 P R 等を実施ができませんでした。</p> <p>雇用労働課の就職活動支援事業については、感染症の影響で労働情勢が悪化したことにより、新規求職件数が増加した一方で求人の減少から新規就職件数が伸び悩んだことが就職率低下の要因となっており、今後も不透明な状況ですが、多様な働き手のニーズに合わせた職業紹介及び相談、就労支援講座、マッチング事業等を実施してまいります。</p> <p>勤労市民会館の管理運営については、感染症拡大防止対策として施設の利用制限による自粛を促したことが稼働率低下の要因となっております。今後も感染防止対策における施設管理を徹底し、施設の利用継続を図ってまいります。</p> <p>労働行政推進事業については、感染症の影響で対面における訪問調査等が自粛されていることが要因となっておりますが、事業所訪問に限らず郵送やメール等デジタルツールを有効に活用しながら、労働問題や職場改善に向けた情報提供等、積極的に実施してまいります。</p>			

拠点整備課の辻堂駅西口周辺整備事業は、メインの土地区画整理事業が終了しているため、実績値は横ばいとなっており、香川駅周辺整備事業及び浜見平地区拠点整備事業については、国庫補助を活用して整備を進めているため、国庫補助の配分により目標値の達成状況に差はありますが、両事業とも施策目標の達成に向けて重点的に取り組んだため成果があがっています。

今後の方向性

【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】

経済部の事業のうち、指標の達成ができなかった事業については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものも多く、アフターコロナを踏まえて事業の方向性を改めて検討するとともに、適宜、事業手法を見直しながら、着実に推進していきます。

事業者支援については、コロナの影響を注視しながら、根本的な経営課題の解決のための相談体制の充実を図り、復興期を見据えた支援のあり方を検討してまいります。

道の駅については、次年度に行う事業者募集に向けて要求水準書等の作成を行うとともに、国道 134 号改良工事を実施する等、見直し後のスケジュールに即して着実に取り組みを進めてまいります。

観光については、新型コロナウイルス感染症の影響で 4 大まつりは中止となりましたが、サザンビーチちがさき海水浴場は感染対策を行いながら開設します。また市内の観光誘客を推進する冊子を作成・配布するなど、ウィズコロナにおける回遊性の向上を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえ、例年開催していた農業まつり（春、秋）等は休止します。共進会、品評会は安全対策を講じた上で開催します。社会情勢等を鑑みた、市内農畜水産物のPR手法を検討していきます。

感染症の影響により、不透明な状況が続いている労働市場については、今後の経済活動の動向に大きく左右されるところではありますが、一方で、感染症の影響により新しい生活様式に則した多様な働き方が加速していることから、時間や場所に捉われず、新しい生活様式に則した柔軟な働き方を選択できるよう、民間事業者や関係機関等と連携しながら、就職活動支援や労働環境の充実に向けた事業を実施してまいります。

萩園地区産業系市街地整備事業については、基盤整備が完了したため、換地処分等の事業完了に向けての業務を実施します。

また、全体を通して、新型コロナウイルス感染症の影響による市税減収や新たに発生した課題等で当初の計画どおり実施できない事業については、計画の見直しを図っています。

時間外勤務については、引き続き事務の効率化や事務手法の改善を図りながら縮減し、ワークライフバランスの実現を目指していきます。